

施工上の注意事項

- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しい時は、サンダー・ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に長く放置されると容器内で分離（顔料沈降）することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 軽量PC板、押出成形板、GRC板などの緻密な素材には、弊社MCプライマーをご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窓サイディング及び発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。
- ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの上上がり肌や色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- 上塗りに彩度の高い色を塗装する場合には、隠ぺい性を高める為に予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の種類の控えは必ずとおき、同一塗料、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 素材、旧塗膜の種類などの状態で塗布量の増減があります。
- 使用期限（3ヶ月、0度以下になった場合等も含む）を超えた塗料は絶対に使用しないでください。使用期限以上経過した塗料は所定の塗膜性能を発揮しないため、塗料状態が塗装可能であっても使用しないことを厳守してください。
- 剥がれや仕上がりの質感に影響が出る可能性がありますので、所要間隔時間を守って塗装してください。
- 塗装面の水滴や水分量が多いと付着力低下や塗膜の弱体化に繋がりますので、水滴をウエスで拭き取るか、エアブロー、新品の中毛ローラーで水滴を除去して乾燥させてから塗装して下さい。
- 換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪の恐れがある場合、及び強風時は塗装を避けてください。
- 最終養生の時間内に降雨、結露などがあると、塗膜剥離や白化、シミなどの発生につながる恐れがありますので、強制換気など行い水分を除去してください。
- 低温または高温時には乾燥硬化が早まりますのでご注意ください。
- 塗装用具などは、使用後すぐに洗浄してください。（固まってしまう）ハケ、中毛ローラーなどは水で落ちにくい場合、しばらく水に漬けてから洗浄してください。
- 取扱中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、手袋、頭巾、長袖作業服、襟巻タオルなどを着用してください。皮膚に付着した場合は石けん水で洗い落とし、痛みや外傷が生じたときは医師の診断を受けてください。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 濃彩色の塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類寝具類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。
- 飛散防止の為養生をしっかりと行なってください。また、ローラー塗装する場合は、ローラーをよくしごいて塗装して下さい。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ローラー、ハケなどは他の塗料での塗装に使用すると、混色などが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

安全衛生上の注意事項

- 本品は塗料としての用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を入手してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。
- 容器を密閉しておいてください。
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないでください。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行なってください。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないでください。
- 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いで下さい。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 吸入した場合：気分が悪い時は医師に連絡してください。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 目に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けてください。
- 眼の刺激が続く場合は：医師の診断／手当を受けてください。
- 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください
- 直射日光を避け、換気の良い涼しいところ場所で保管してください。
- 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
- 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 塗装直後の引き渡しの場合は施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立て看板などでペンキ塗りたてである旨を表示してください。詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

 **株式会社 ミクロカプセル**
Micro Capsule, INC.

〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目13番27号
TEL: (06) 6930-0396 (代)
FAX: (06) 6931-0566
E-mail: info@microcapsule.jp
URL: http://www.microcapsule.jp/



【施工代理店 全国ミクロカプセル工業会 会員】

無機成分
90% 配合

マイクロセラコート

MSA-1000G

長寿命化に最適な高耐久水性無機塗料


マイクロカプセル